

令和5年8月28日

報道機関各位

長岡市商工部産業支援課長



長岡市

卸売業・小売業・サービス業の課題を解決！

「デジタル推進ラボ」デジタルビジネスイノベーション・ハブを新設

長岡市は今年4月、デジタル化に対する取り組みが経済産業省から「長岡市デジタル推進ラボ^{*1}」として選定され、市内企業へのデジタル化に向けた個別相談などを行ってきました。その中で、卸売業、小売業、サービス業の分野において人手不足や生産性向上などの地域共通の課題があることがわかりました。

そこで、卸売業、小売業、サービス業の企業、IT企業、大学、金融機関、行政などが集まり、新しい技術の活用により課題解決に取り組む「イノベーション・ハブ」を立ち上げ、このたび、第1回の会合を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力いただくとともに、取材くださるようお願いいたします。

長岡デジタルビジネスイノベーション・ハブ^{*2}を新設

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 8月29日（火）午後3時～5時 |
| 2 場 所 | まちなかキャンパス長岡302会議室（長岡市大手通2-6） |
| 3 内 容 | <ul style="list-style-type: none">・長岡デジタルビジネスイノベーション・ハブの設立趣旨・方針の説明・参加者の紹介・質疑応答・意見交換（課題出し、技術的ソリューションの確認）・今後の進め方 など |
| 4 目 的 | <ul style="list-style-type: none">・長岡市特有の課題を解決することで、市内産業全体の生産性の底上げを図る。・フリーディスカッションでアイデアを出し合い、それらをビジネスモデルまで高めることで、これまでに無い「長岡発デジタルツール」の実装を目指す。 |
| 5 参加予定者 | 約20人
(卸売業、小売業、サービス業の企業、IT企業、大学、金融機関、行政など) |

※1 市内企業の生産性向上、人手不足などの課題解決のため、デジタル技術の導入を促進する団体。大学などの教育機関、金融機関、IT企業、各種関係団体が参画している。

経済産業省から、デジタルを活用した業務効率化にとどまらない、産官学金連携によるイノベーション創出などを目指す地域として、今年4月4日に他の30地域とともに「地域DX推進ラボ」に選定された。

※2 長岡デジタルビジネスイノベーション・ハブの概要は別紙のとおり

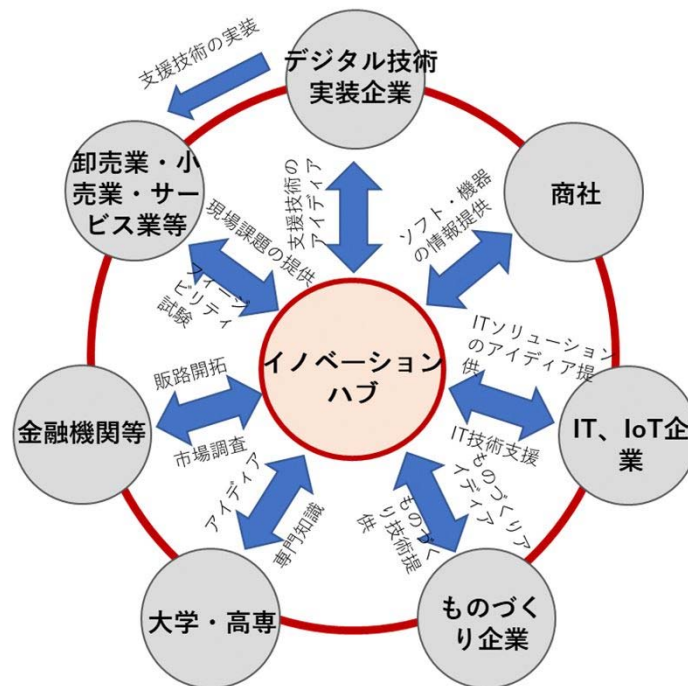
問い合わせ：産業支援課 河上
TEL 0258-39-2222

長岡デジタルビジネスイノベーション・ハブ

中小企業庁の「中小企業白書」によれば、建設業・製造業・通信情報業に比べ、卸売業・小売業・サービス業の労働生産性が低いことが示されている。

すなわち、卸売業・小売業・サービス業においては、ビジネスモデル、業務管理・形態等の課題解決により、労働生産性を改善できる余地が十分あることを示している。

本デジタルビジネスイノベーションハブでは、卸売業・小売業・サービス業などの業種における地域共通の現場課題を明らかにし、デジタル技術を活用し、その解決に取り組む。



- (1) それぞれの知識・能力・技術を生かし、課題解決するために必要なステークホルダー
- (2) 現場課題の把握と共通認識
- (3) 重要性・必要性の高い課題の選定
- (4) WGの設置により、取り上げた課題の解決策提案
- (5) 解決策による実証試験
- (6) 実証試験により実装可能となったものについては、商社・企業等と相談しビジネスへとつなげる